

すごい人 えらい人、立派な人



平昌の冬季オリンピックが始まり、マスコミはバカのひとつ覚えのようにメダルのことばかり報じています。そしてメダリストがメダルを持ってTVに登場します。

確かに私の身のまわりにもメダリストは居ます。オリンピックでメダルを取るということは並大抵ではないし努力だけで取れるものでもありません。恵まれた天性も必要です。そこでメダルを取るとあちこちで大騒ぎをするわけですが、スポーツ選手に限らず、囲碁や芸術的な面でもチャンピオンになることはすごいことで取った人は「すごい人」です。素晴らしい能力の持ち主です。

一方、人知れず町に落ちているゴミを拾ったり、困っている人が居たら手を差し伸べる人の役に立つ人が居ます。私はこういう人は「えらく立派な人」だと思います。そして、そんな人の中にも「すごい人」はいます。

要は、すごい人だから「えらい人、立派な人」とは限らないということです。そろそろ「すごい人＝えらく、立派な人という構図」は考え直す時期のような気がします。すごい人を創ろうとして勝ち負けにこだわりすぎて返って薄っぺらな人間を創ってしまわないためにも「すごい人とえらく立派な人とは違う」ということを我々も考える時期ではないでしょうか。

まっく代表 向井忠義